

認定ファンドレイザー必修研修 ファンドレイジング戦略レポート課題について

1 本レポート作成の趣旨

(1)本レポートは、認定ファンドレイザー必修研修の一環として実施するものであり、研修内容を踏まえて、自団体(自団体のケースが活用できない場合は、当協会の用意するサンプルケース)の具体的なファンドレイジング戦略の策定をすることを通じて、研修成果を自団体向けに適用させる演習を行うものです。

(2)認定ファンドレイザー資格試験受験には、このレポート提出が必要であり、評価を行うため、自身の専門的知見を発揮し、自身の努力で提出することが必要です。

※本レポートでご提出頂いた情報は、協会内で厳正な管理を行います。

2 提出内容

(1)形式について

- ・ワード、エクセル、パワーポイントなどのデータフォーマットは自由です。
- ・日本語を使用すること。
- ・頁数は、10 頁以上、上限を 15 頁とします。(表紙(1 頁)、目次(1 頁)、添付資料含む。)

※ファンドレイジング・スクール生については、スクールの修了要件である自団体のファンドレイジング戦略レポート提出をもって、認定ファンドレイザー必修研修のレポート課題提出とします。

(2)提出期限について

- ・**締切:2023 年 3 月 7 日(火)**
- ・電子データ(メール添付 cfr@ifra.jp)でお送りください。

(3)レポート構成

- ・表紙(タイトル、氏名、対象団体名)
- ・目次
- ・以下を含めてください。
 - －対象団体の現状と経緯
 - －課題分析(必ずファンドレイジングの要素を含む)
 - －改善に向けた戦略とアクションプラン(複数年の計画)
 - －同戦略の実現に向けて、自分自身の果たし得る役割
- ※研修で学んだ分析のフレームは必ず含めてください。
- その他、フロー図や分析シートの挿入などについては、自由に構成してください。

(4)作成にあたっての留意事項

- ・研修受講者自身が執筆・編集してください。代筆は認められません。
(代筆等の不正行為が発覚した場合には、資格認定を取り消すことがあります。)
- ・作成プロセスにおいて、団体内でのディスカッション、関係者へのアンケートやヒアリングなどの取り組みは推奨します。
- ・既存の団体の計画やペーパーを引用する場合は、その旨(出典として)表記してください。
- ・直近の試験をご予定でない場合も、同締切日までに、レポートの提出が必要です。
- ・直近の試験を受験されない方、試験結果が不合格になった場合も、次回受験の際に、レポートの再提出をご希望の方は、差し替えが可能です。